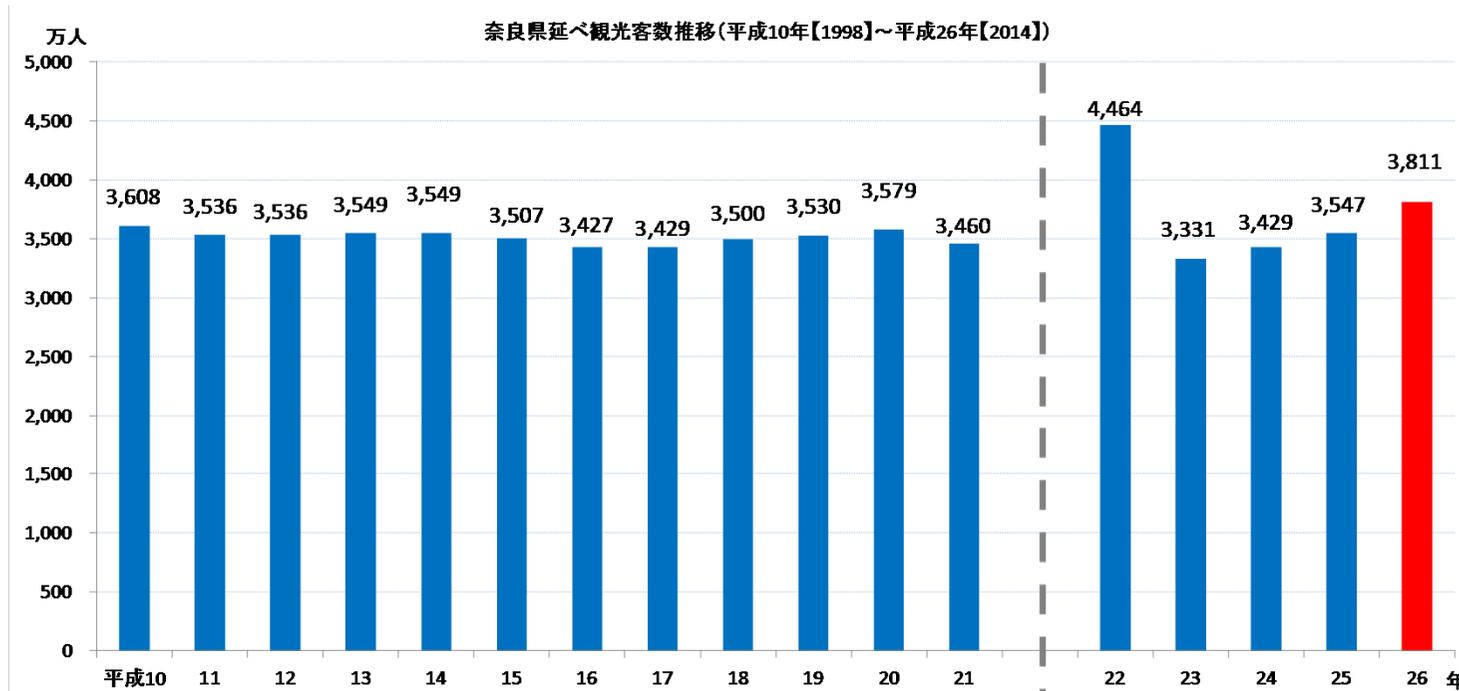


# 奈良県観光客動態調査報告書

平成26年(1月～12月)

奈良県観光局観光産業課

# 1. 奈良県への観光客数(年別)

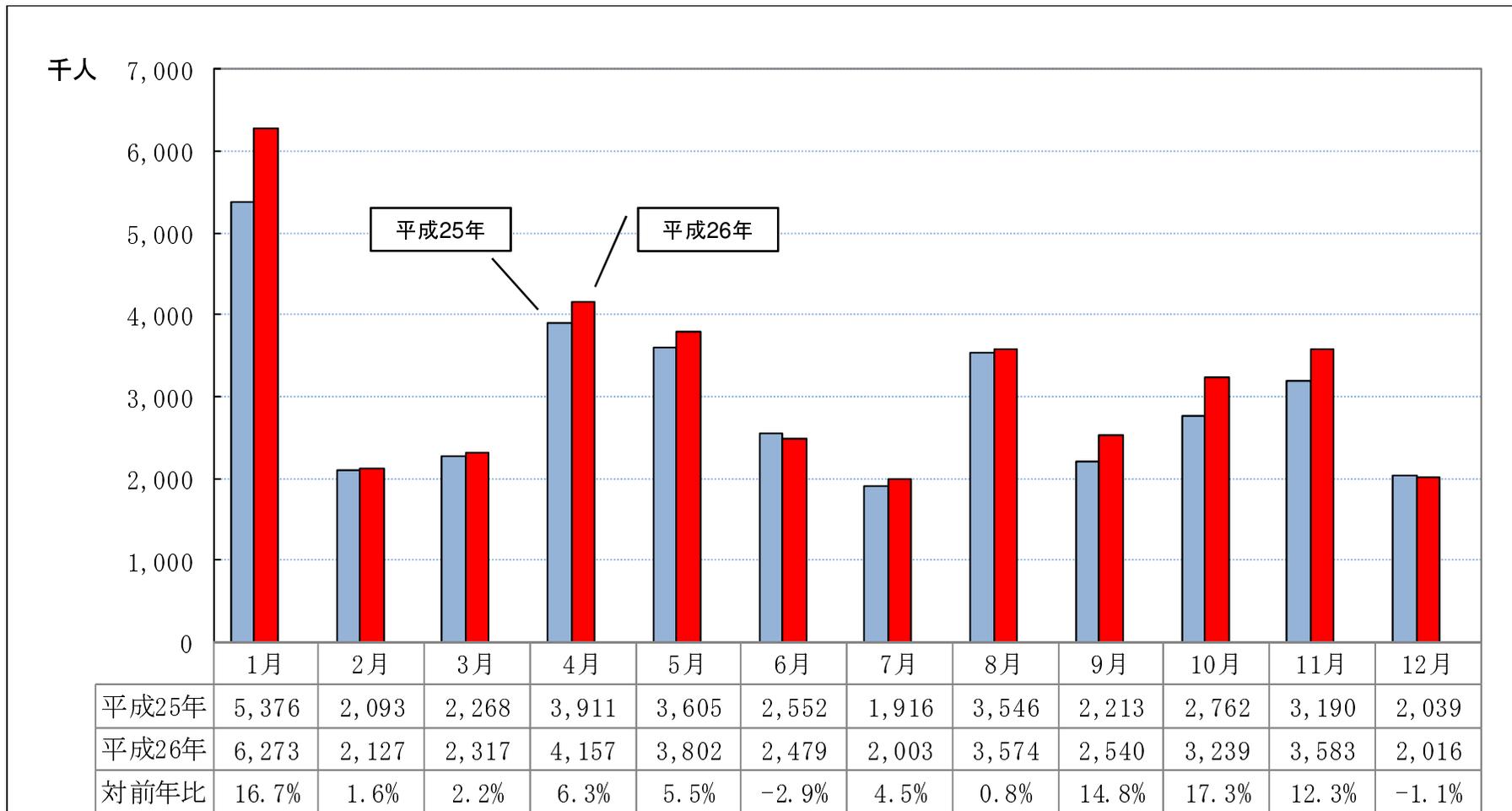


(※1)

・平成26年1月～12月の奈良県観光客数は約3,811万人で、前年(平成25年)比264万人、7.4%増加。

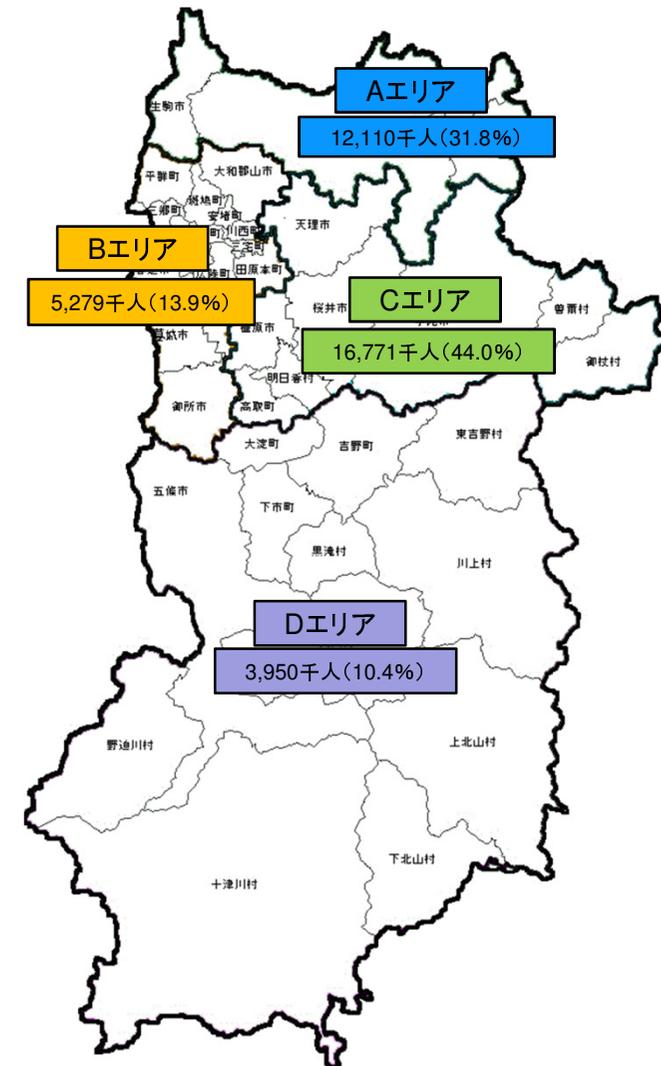
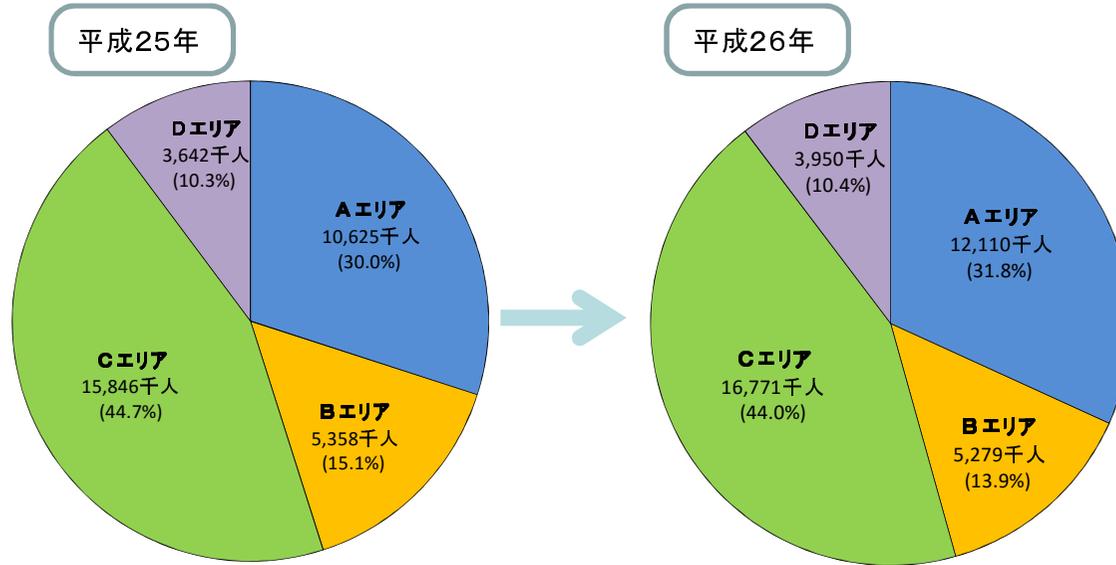
※1 平成22年4月から観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に準拠し推計。それまでの各県独自の推計方法による調査から、観光地点の定義、調査方法等について全国統一の基準を採用し、他府県との比較が可能となった。従前は、地域ごとに入込客数の伸び率を算出し前年の数値に乘じる方法だったが、現在は観光地点やイベントごとの入込客数を調査、集計する方法に変更。

## 2. 奈良県への観光客数(月別)



- ・6月と12月を除く月で増加。
- ・例年、2月、7月、12月は観光客が少なく、オンとオフの差が大きい。

### 3. 奈良県への観光客数(エリア別)



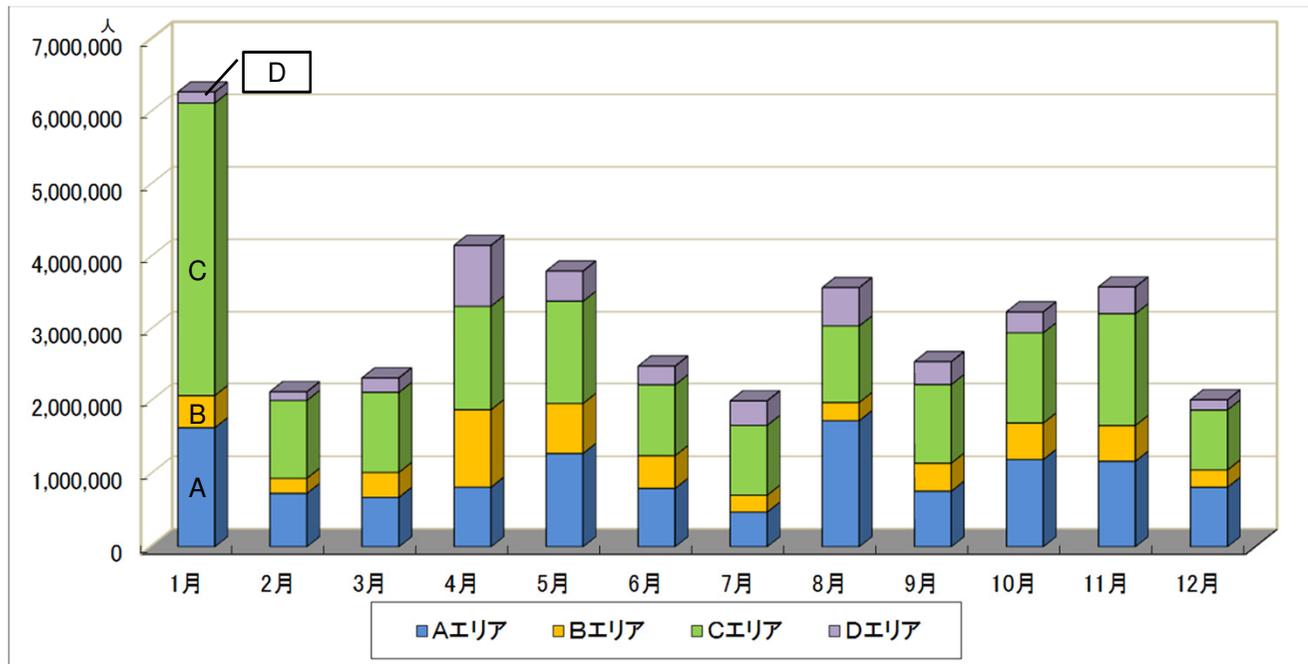
エリア	市町村
A (県北部)	奈良市、生駒市、山添村
B (県西部)	大和高田市、大和郡山市、御所市、香芝市、葛城市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町
C (県東部)	天理市、橿原市、桜井市、宇陀市、曽爾村、御杖村、高取町、明日香村
D (県南部)	五條市、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村

## 4. エリア別観光客数と主な増減理由

単位：人

	平成25年	平成26年	前年比	主な増減理由
Aエリア	10,625,000	12,110,000	14%	平成23年以降、訪日外国人が増え続けていることに加え、海外プロモーション効果もあり、奈良県への外国人訪問客数も増加していることが要因と思われる。 また、春日大社の第六十次式年造替のご奉祝行事による賑わいもあり、前年より増加した。
Bエリア	5,358,000	5,279,000	-1%	イベントに工夫を凝らすことで賑わいをみせた地域もあったが、天候不良の影響による行祭事の中止や、入込の減少した社寺もあり、エリア全体としてはやや減少した。
Cエリア	15,846,000	16,771,000	6%	「海づくり大会」関連のイベント開催や、市町村によるプロモーション効果により社寺や観光地の入込が増加した影響により、前年より増加した。
Dエリア	3,642,000	3,950,000	8%	ゴールデンウィークの天候不良や、夏場の台風による影響があったものの、桜のシーズンが好調であったことに加えて、平成26年は「紀伊山地の霊場と参詣道」世界遺産登録10周年、十津川温泉郷の「源泉かけ流し宣言」10周年にあたる記念の年であり、賑わいをみせた観光地点が多く、エリア全体としては増加した。

## 5. エリア別・月別観光客数



エリア	市町村
A	奈良市、生駒市、山添村
B	大和高田市、大和郡山市、御所市、香芝市 葛城市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町 川西町、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町 広陵町、河合町
C	天理市、橿原市、桜井市、宇陀市、曾爾村 御杖村、高取町、明日香村
D	五條市、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村 天川村、野迫川村、十津川村、下北山村 上北山村、川上村、東吉野村

		(単位:人)											
月 エリア	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
A	1,635,000	734,000	679,000	818,000	1,281,000	802,000	477,000	1,731,000	764,000	1,198,000	1,174,000	817,000	12,110,000
B	440,000	207,000	342,000	1,063,000	686,000	448,000	231,000	249,000	384,000	501,000	491,000	237,000	5,279,000
C	4,047,000	1,067,000	1,099,000	1,436,000	1,419,000	973,000	959,000	1,066,000	1,079,000	1,252,000	1,550,000	824,000	16,771,000
D	151,000	119,000	197,000	840,000	416,000	256,000	336,000	528,000	313,000	288,000	368,000	138,000	3,950,000
計	6,273,000	2,127,000	2,317,000	4,157,000	3,802,000	2,479,000	2,003,000	3,574,000	2,540,000	3,239,000	3,583,000	2,016,000	38,110,000

・1月のCエリアは、初詣を中心に400万人を超える入込。4月は桜の名所があるB、C、Dエリアを中心に観光客が増える。また、8月は、なら燈花会などのイベントが開催され、Aエリアの観光客が多くなる。

## 6. 観光入込客数(実人数)及び観光消費額の推計結果

(観光庁の「共通基準による観光入込客統計調査」に基づく)

### (1) 観光入込客数(実人数)

(単位:千人回)

	計	うち宿泊客	うち日帰り客
平成26年	20,936	2,000	18,936
平成25年	19,848	2,182	17,666
対前年比	5.5%	-8.3%	7.2%

### (2) 1人あたり観光消費額

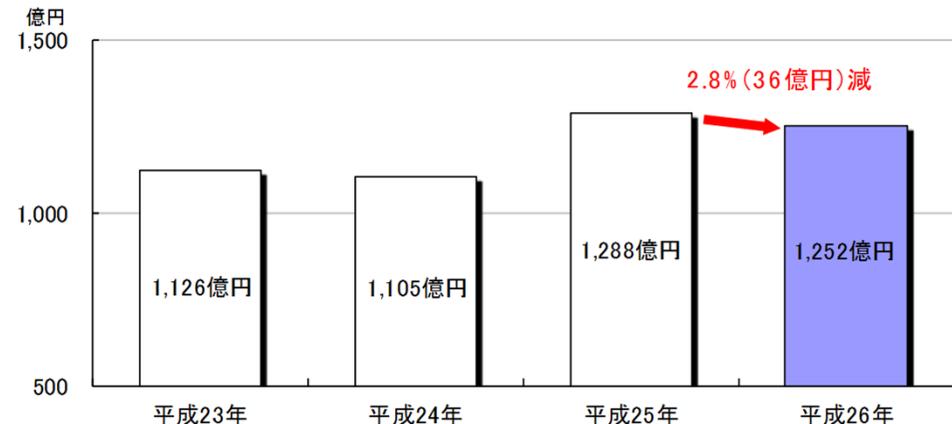
(単位:円)

	奈良県	
	宿泊客	日帰り客
平成26年	25,966	3,871
平成25年	26,577	4,009
対前年比	-2.3%	-3.4%

### (3) 観光消費額の推計結果

(単位:百万円)

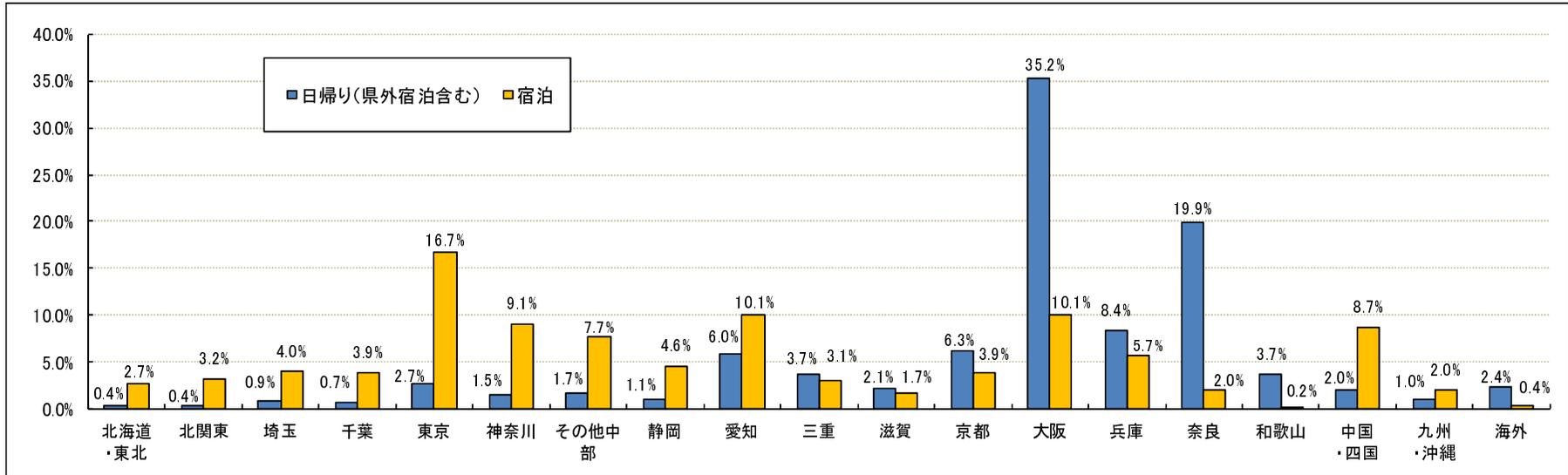
	計	うち宿泊客	うち日帰り客
平成26年	125,232	51,931	73,301
平成25年	128,810	57,991	70,819
対前年比	-2.8%	-10.4%	3.5%



- ・観光入込客数の実人数は2,094万人。日帰り客が占める割合が多い。
- ・観光消費額単価は、宿泊客が25,966円、日帰り客が3,871円。
- ・観光消費額は約1,252億円。

# 7. サンプル調査に基づく来訪者の発地

(平成26年1月～平成26年12月調査 実サンプル数 3,941件)



区分	北海道・東北	北関東	東京圏				中部圏				近畿圏					中国・四国	九州・沖縄	海外	
			埼玉	千葉	東京	神奈川	その他中部	静岡	愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良				和歌山
日帰り	0.4%	0.4%	0.9%	0.7%	2.7%	1.5%	1.7%	1.1%	6.0%	3.7%	2.1%	6.3%	35.2%	8.4%	19.9%	3.7%	2.0%	1.0%	2.4%
宿泊	2.7%	3.2%	4.0%	3.9%	16.7%	9.1%	7.7%	4.6%	10.1%	3.1%	1.7%	3.9%	10.1%	5.7%	2.0%	0.2%	8.7%	2.0%	0.4%
計	0.5%	0.6%	1.1%	0.9%	3.7%	2.0%	2.1%	1.3%	6.2%	3.7%	2.1%	6.1%	33.5%	8.2%	18.6%	3.4%	2.5%	1.1%	2.2%

・日帰り観光客は近畿圏からの来訪者が75.6%を占め、最も多いのが大阪府の35.2%、次いで奈良県の19.9%、兵庫県の8.4%。  
 ・宿泊観光客は東京圏がトップの33.7%を占め、次いで中部圏の25.5%。(参考:平成25年値 東京圏32.6%、中部圏21.9%)

※回答が少数の道・県は、地域ブロックにまとめています。

地域ブロック	都道府県						
北海道・東北	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県
北関東	茨城県	栃木県	群馬県				
その他中部	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県

地域ブロック	都道府県								
中国・四国	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県
九州・沖縄	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	

## 調査対象・推計方法

### 調査対象

- ・「観光地点」及び「行祭事・イベント」

観光地点については次の①～③に掲げる要件の全てを満たすもの、「行祭事・イベント」については②及び③の要件を満たすものを集計対象とする。

- ①非日常利用が多い(月1回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満)と判断される地点であること。
- ②観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
- ③前年の観光入込客数が年間1万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込客数が5千人以上であること。(なお、調査年の途中で、観光入込客数が上記の要件を満たすこととなった観光地点が新設された場合は、集計の対象とする。)

### 推計方法

- ①「観光地点等入込客数(延べ人数)調査」  
四半期ごとに市町村が観光地点の管理者や行祭事・イベントの運営者に入込客数を調査し、県が集計する。
- ②「観光地点パラメータ調査」(サンプル調査)  
県内10箇所の観光地点において四半期ごとに、層性別の構成比(観光目的、ビジネス目的、訪日外国人、県外客、県内客、宿泊客、日帰り客等)、訪問地点数、観光消費額単価等についてアンケート調査を行う。
- ③上記の①及び②の調査で得たデータを基に、観光入込客数(実人数)、観光消費額を推計する。